



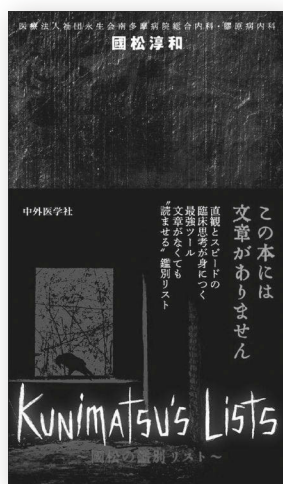
また来たくなる外来

國松淳和＝著

本体 3,000 円＋税／四六判・296 頁／金原出版／2020

この春、なんと 4 冊の本を出された國松先生 (p.772)、うち 3 冊をまとめてご紹介(もう 1 冊は弊社刊『不明熱・不明炎症レジデントマニュアル』。本誌 5 月号 p.602 にて既報、プレゼントの対象にもなっています)。今年の日本内科学会の書店ブースにて、「国祭り」として一挙お披露目の予定でしたが、幻の祭となりました。ささやかながら、ここに「誌上国祭り」とさせていただきます。

本書は、初期研修医からベテランドクターまで、ズバリ「外来診療に自信がない人」のための本。必要なことは外来診療のもたらす「結果」の向上です。そして、本書が目指す究極のアウトカムは「患者さんにまた来たいと思わせることができるか」ただ 1 つ。それには、マニュアル指南では決してうまくいかず、「意識改革」をせねばなりません。本書は医学書にして、自己啓発本なのです!



Kunimatsu's Lists

國松の鑑別リスト

國松淳和＝著

本体 2,700 円＋税／B6 変判・460 頁／中外医学社／2020

鬼才臨床医・國松淳和による鑑別リスト。誰しもが思いつく鑑別とは、一味どころかまったく異なる「國松流」を体感しよう。國松淳和の臨床思考を「文章を使わずに詰め込んだ」本書は、直観とスピードを磨く絶好の機会となるだろう。症候・病名・検査異常・薬剤性の 4 章に分かれており、その時々において考えるべきことを 1 冊にまとめた網羅性は必見。リスト部分はもちろん、目次や索引すべてに意図があり、何度読んでも発見が尽きない!



ブラック・ジャックの解釈学

内科医の視点

國松淳和＝著

本体 2,400 円＋税／四六判・312 頁／金芳堂／2020

手塚治虫の不朽の名作『ブラック・ジャック』より 24 症例を取り上げ、國松淳和が「現代医学から再診断する」「難題(難病・悪条件)に取り組むプロフェッショナルリズムのお手本としてのブラック・ジャックを拾い上げる」という試みに挑戦した! 手塚治虫の描写を可能なかぎり真であるとして、「病跡学」のように当時の検査水準や疾患分類を検討する。わずかな手がかりと症例報告やエビデンスから診断を引き出すという「診断学」の入門書でもある。その診断の醍醐味を味わってほしい。